

5. 地区別の通学状況(平成22年度)

(1) 南部地区

◇概況

南部地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、80%程度。
南部地区に所在する高校は、鉄道沿線の人口集中地区に点在している。このため、各校において30%以上の生徒が鉄道を利用して通学している。仙台圏からのアクセスも容易である。

◇通学方法

通学手段						同一地区からの入学割合	
徒歩	自転車	バイク	JR	バス	自家送迎 その他		前年差
5.7%	37.5%	4.5%	33.6%	5.5%	13.3%	83.3%	▲4.1

(2) 中部地区

◇概況

中部地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、60%程度で推移している。
中部地区は、公共交通機関が発達しており、通学範囲は広域にわたる。

◇通学方法

通学手段						同一地区からの入学割合	
徒歩	自転車	バイク	JR	バス	自家送迎 その他		前年差
6.2%	50.3%	0.2%	31.5%	8.9%	2.9%	58.5%	▲2.7

(3) 北部(大崎)地区

◇概況

大崎地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、70~80%の間で推移している。
大崎地区は、JRが南北・東西に走っていることから、通学範囲が広域にわたる。ただし、加美町・色麻町については、鉄道路線から外れている上、郊外が奥羽山系の麓まで広がっており、通学範囲は限られている。

◇通学方法

通学手段						同一地区からの入学割合	
徒歩	自転車	バイク	JR	バス	自家送迎 その他		前年差
4.5%	35.2%	2.5%	40.6%	4.6%	12.5%	74.7%	▲5.1

(4) 北部(栗原)

◇概況

栗原地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、75%程度。
栗原地区は、築館・栗駒・若柳地域の3地域に人口が集中しており、市内の主要な高校も同様に約10km程度の間隔において配置されている。栗原市の東部については自転車やバスでの通学が可能だが、西部については山が迫っており自家送迎の割合が高くなっている。

◇通学方法

通学手段						同一地区からの入学割合	
徒歩	自転車	バイク	JR	バス	自家送迎 その他		前年差
3.0%	43.8%	10.9%	3.5%	15.4%	23.4%	74.5%	1.7

(5) 北部(登米)

◇概況

登米地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、70%程度。
登米地区は、人口が集中している佐沼地区を中心に半径10km以内に全ての高校が立地しており、概ね市内のどの地域からもアクセスしやすい状況となっている。そのため、7割程度の生徒が自転車・バイクで通学している。

◇通学方法

通学手段						同一地区からの入学割合	
徒歩	自転車	バイク	JR	バス	自家送迎 その他		前年差
5.0%	44.9%	23.4%	0.0%	14.9%	11.9%	72.0%	▲1.0

(6) 東部(石巻)

◇概況

石巻地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、90%弱を占める。
人口が集中している石巻市街地を中心に半径10km以内にほとんどの高校が立地しており、また、ほとんどの学校は市街地か、JRの駅に隣接していることもあり、市内のどの地域からもアクセスしやすい状況となっている。

◇通学方法

通学手段						同一地区からの入学割合	
徒歩	自転車	バイク	JR	バス	自家送迎 その他		前年差
2.9%	49.4%	0.6%	35.6%	5.0%	6.5%	87.0%	▲1.6

(7) 東部(本吉)

◇通学方法

本吉地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は80%程度。同地区の私立高校に入学する生徒を含めると、95%超の生徒が同地区の高校に入学している。
本吉地区は、大きく気仙沼・本吉・南三陸の三地区に分かれ、それぞれが20km前後離れているものの、各地区間はJRで結ばれている。

◇通学方法

通学手段						同一地区からの入学割合	
徒歩	自転車	バイク	JR	バス	自家送迎 その他		前年差
14.0%	15.4%	6.4%	34.2%	5.7%	24.3%	82.5%	▲1.3

(資料)宮城県教育庁調べ

(参考) 全県一学区化に当たっての取組

施策の目的	施策の内容	施策目的を達成するために実施した教育庁の取組																																																																																																									
		取組名	事業の内容	行政評価(平成21年度事業)																																																																																																							
○生徒の学校選択の自由を拡大する。	<p>○高等学校入学選抜審議会(以下「入選審」)を受けたことを受け、普通科についても平成22年度入試から通学区区域を撤廃し、全県一学区制とした。</p> <p>【通学区区域の変遷】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">昭和25年度 (学区設定)</th> <th colspan="2">昭和52年度 (仙台学区の南北分割)</th> <th colspan="2">平成13年度 (通学区区域の拡大)</th> </tr> <tr> <th>学区</th> <th>地区</th> <th>学区</th> <th>地区</th> <th>学区</th> <th>地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>刈田柴田</td> <td rowspan="2">白石</td> <td>刈田柴田</td> <td rowspan="2">南部</td> <td>刈田柴田</td> <td rowspan="2">刈田柴田</td> </tr> <tr> <td>伊具</td> <td>伊具</td> <td>伊具</td> </tr> <tr> <td>亙理名取</td> <td rowspan="2">仙台南</td> <td>亙理名取</td> <td rowspan="2">中部南</td> <td>亙理名取</td> <td rowspan="2">亙理名取</td> </tr> <tr> <td>仙台</td> <td>仙台南</td> <td>仙台南</td> </tr> <tr> <td>塩釜</td> <td rowspan="2">仙台北</td> <td>塩釜</td> <td rowspan="2">中部北</td> <td>塩釜</td> <td rowspan="2">塩釜</td> </tr> <tr> <td>黒川</td> <td>黒川</td> <td>黒川</td> </tr> <tr> <td>大崎</td> <td rowspan="2">古川</td> <td>大崎</td> <td rowspan="2">北部</td> <td>大崎</td> <td rowspan="2">大崎</td> </tr> <tr> <td>遠田</td> <td>遠田</td> <td>遠田</td> </tr> <tr> <td>登米</td> <td rowspan="2">登米</td> <td>登米</td> <td rowspan="2">登米</td> <td>登米</td> <td rowspan="2">登米</td> </tr> <tr> <td>栗原</td> <td>栗原</td> <td>栗原</td> </tr> <tr> <td>石巻</td> <td rowspan="2">石巻</td> <td>石巻</td> <td rowspan="2">東部</td> <td>石巻</td> <td rowspan="2">石巻</td> </tr> <tr> <td>飯野川</td> <td>飯野川</td> <td>飯野川</td> </tr> <tr> <td>本吉</td> <td>本吉</td> <td>本吉</td> <td>本吉</td> <td>本吉</td> </tr> </tbody> </table> <p>(13学区) (8地区) (5地区)</p>	昭和25年度 (学区設定)		昭和52年度 (仙台学区の南北分割)		平成13年度 (通学区区域の拡大)		学区	地区	学区	地区	学区	地区	刈田柴田	白石	刈田柴田	南部	刈田柴田	刈田柴田	伊具	伊具	伊具	亙理名取	仙台南	亙理名取	中部南	亙理名取	亙理名取	仙台	仙台南	仙台南	塩釜	仙台北	塩釜	中部北	塩釜	塩釜	黒川	黒川	黒川	大崎	古川	大崎	北部	大崎	大崎	遠田	遠田	遠田	登米	登米	登米	登米	登米	登米	栗原	栗原	栗原	石巻	石巻	石巻	東部	石巻	石巻	飯野川	飯野川	飯野川	本吉	本吉	本吉	本吉	本吉	(1) 魅力ある高校づくり	<p>① 特色ある高校づくりに対する支援事業 (趣旨) ・「選択」「競争」「評価」「公開」を新しい学校づくりの原則とし、各学校の自主性に基ついた、独自の教育活動を支援し、特色ある学校づくりを支援する。</p> <p>(主な取組) ・県教委が指定した10のテーマ(学術研究、デュアルシステム拡充、伝統文化等)に関する学校独自の取組のうち、県教委が指定したものに対し財政支援を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>予算額(千円)</th> <th>指定校数(校)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H15年度</td> <td rowspan="4">学校活性化プロポーザル事業</td> <td>11,000</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>11,999</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>12,491</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>1,790</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>個性かがやく高校づくり推進事業</td> <td>4,454</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td rowspan="2">個性かがやく高校づくり推進事業</td> <td>5,491</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>4,347</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>魅力ある県立高校づくり支援事業</td> <td>5,000</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(資料)宮城県教育庁調べ ※いずれも、「特色ある学校づくり」を目的とした学校からの事業提案のうち、教育委員会が指定したものについて予算を配分する事業</p>	年度	事業名	予算額(千円)	指定校数(校)	H15年度	学校活性化プロポーザル事業	11,000	14	16	11,999	15	17	12,491	16	18	1,790	1	19	個性かがやく高校づくり推進事業	4,454	8	20	個性かがやく高校づくり推進事業	5,491	13	21	4,347	17	22	魅力ある県立高校づくり支援事業	5,000	20	<p>○成果指標「就職決定率及び現役進学達成率(%)」 ・目標値 96 / 87.0 実績値 90.9 / -</p> <p>○有効性評価「成果があった」 ・教職員からのボトムアップで特色ある学校づくりを推進できた。 ・次年度の応募校数が倍増し、各高校の教員が前向きに取り組もうとする機運が高まってきている。 ・学校が取り組むべき課題が明確となっている。</p> <p>○効率性評価「概ね効率的」 ・学校ごとに特色を生かして実施することができ、事業は概ね効率的に行われている。</p> <p>○課題 ・各高校がそれぞれ抱える課題だけでなく、教育委員会が重要と考える課題に対応した取組の支援が必要。 ・各指定校があげた成果を広く伝達し、指定校以外の学校へ普及を図る工夫が必要。</p>
		昭和25年度 (学区設定)		昭和52年度 (仙台学区の南北分割)		平成13年度 (通学区区域の拡大)																																																																																																					
		学区	地区	学区	地区	学区	地区																																																																																																				
刈田柴田	白石	刈田柴田	南部	刈田柴田	刈田柴田																																																																																																						
伊具		伊具		伊具																																																																																																							
亙理名取	仙台南	亙理名取	中部南	亙理名取	亙理名取																																																																																																						
仙台		仙台南		仙台南																																																																																																							
塩釜	仙台北	塩釜	中部北	塩釜	塩釜																																																																																																						
黒川		黒川		黒川																																																																																																							
大崎	古川	大崎	北部	大崎	大崎																																																																																																						
遠田		遠田		遠田																																																																																																							
登米	登米	登米	登米	登米	登米																																																																																																						
栗原		栗原		栗原																																																																																																							
石巻	石巻	石巻	東部	石巻	石巻																																																																																																						
飯野川		飯野川		飯野川																																																																																																							
本吉	本吉	本吉	本吉	本吉																																																																																																							
年度	事業名	予算額(千円)	指定校数(校)																																																																																																								
H15年度	学校活性化プロポーザル事業	11,000	14																																																																																																								
16		11,999	15																																																																																																								
17		12,491	16																																																																																																								
18		1,790	1																																																																																																								
19	個性かがやく高校づくり推進事業	4,454	8																																																																																																								
20	個性かがやく高校づくり推進事業	5,491	13																																																																																																								
21		4,347	17																																																																																																								
22	魅力ある県立高校づくり支援事業	5,000	20																																																																																																								
		(2) 生徒が適切に学校選択できる環境の整備	<p>② 各地域の進路指導拠点校の学力向上事業 (趣旨) ・仙台市以外の地域の進路指導の学力向上と、仙台市への一極集中を防ぐ。 ・県内の各地域に進路指導拠点校を指定し、その連携・協力による進路指導を支援し、大学進学達成率の向上を図るとともに、その成果を発信することにより、地域に信頼される学校づくりを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>【進路指導拠点校(10校)】 白石高校、角田高校、古川高校、古川黎明高校、築館高校、岩ヶ崎高校、佐沼高校、石巻高校、石巻好文館高校、気仙沼高校</p> </div> <p>(主な取組) ・家庭学習習慣を定着させるための学習習慣診断カードの作成・活用 ・指定校合同学習会 ・東北大学オープンキャンパス参加 ・授業改善研修会の開催</p>	<p>○成果指標「指定校11校の大学・短大への現役進学達成率」 ・目標値 84.0% 実績値 89.1%</p> <p>○有効性評価「成果があった」 ・平成19年3月卒業生と平成21年3月卒業生を比較すると、国公立大学合格者数、国公立大学進学達成率、東北大学合格者数を含め、大学・短大への進学率及び進学達成率すべてが向上している。</p> <p>○効率性評価「効率的」 ・各校とも計画通りに充実した取組が進んでおり、決算の状況から判断しても効率的</p> <p>○課題 ・全県一学区に伴う仙台への一極集中を防ぐためにも、地域の拠点校において引き続き充実した進路指導を行う必要がある。 ・地域からの一層の信頼を得るためには、とりわけ国公立大学への進学達成率の向上が求められる。</p>																																																																																																							
			<p>③ 人事面での取組 (趣旨) ・魅力ある学校づくりや学校の活性化のため、教員の資質向上を図るとともに、意欲のある優れた教員を適正に配置する。</p> <p>(主な取組) ・進路指導拠点校を中心に、教員の公募人事を積極的に実施 ・校種間、広域人事交流の推進</p>																																																																																																								
			<p>① 一学区制の導入について保護者・生徒・中学校への周知活動 ・新制度説明会の開催 ・相談窓口の設置 ・リーフレットの配布</p>	<p>○成果指標「高校合同相談会参加者」 ・目標値 4,500人 実績値 3,700人</p> <p>○有効性評価「成果があった」 ・各校の教育内容等学校の特色を掲載したガイドブックを更新し、高校教育課のHPに掲載した。 ・中学生の高校選びに役立てるために、中学生及び保護者等対象の高校合同相談会を県内6箇所で開催し、約3,700名の中学生・保護者が参加。</p> <p>○効率性「効率的」 ・高校合同相談会には県内すべての公立高校が参加し、各地域で高校の特色等について説明会及び個別相談を実施した。 ・アンケートでは97パーセントの参加者から「大変参考になった」「参考になった」との回答があり、少ない事業費で効率的に実施した。</p>																																																																																																							
			<p>② 高校情報の発信 ・高校ガイドブックの作成・配布 すべての県立高校について、伝統・校風、特色ある取組、教育課程、部活動、進学・就職先、通学方法、制服などの学校情報を一冊にとりまとめ、中学3年の全学級に配布する。 ・高校オープンキャンパスの開催 ・高校合同相談会の開催(中学生・保護者対象) ・出前説明会(中学校の求めに応じ、高校が出向き学校を紹介) ・メールマガジンの発行(中学校対象 平成19年度から配信)</p>																																																																																																								
			<p>③ 中学校の進路指導の充実 ・県教育委員会、県立学校が発信する情報を生徒・保護者に提供 ・進学指導の強化 ・生徒自らによる進路選択を可能とする基礎的・基本的学力の定着</p>																																																																																																								